配者圏に談話を發表する宇垣大将

内外を非常な緊張と酌数の脳の中「き腕をおろした排中者、取りなし」「言力養く何切つて明要する。さ、フシュの放射を浴びつ費者としてで一夜を明かした二十九十雪、突(扱い「重大総支」の驚と共に「す」(使として融合大将を誇っ五人組の「人様」わ」とばかり雪層込む配素の許を「数を接着し次で建東大将の歌を辞」と近かり雪層込む配素の許を「数を接着し次で建東大将の歌を辞」と近ひ所数を身を上端でたころ。「中を異概な無清神な写案として本意」かき分け、どつかと歌絵画に書つ「する心気になつだ次重につき」言。 一般はひ所数を身を上端でしていて、一位を明かした二十九十雪、突(扱い「重大総支」の数と共に「す」(使として融合大将を訪れ現下の「臓」ですか……」と酸ペパンケチでローで一夜を明かした二十九十二、突(返)ですか……」と酸ペパンケチでローで一般を明かした二十九十二、一般を見る。

**②停頓旅跡を襲けてゐた組閣本部。の大語に立至つた今日の旅嫁を案。を選して和服に草師のまゝ鐚衷の「厩稼はリレー武に帯話日に避ばれて果原塩語」大部建下具来修然だ。に叩き 込んだ、午期 九時 朱組閣「か郡白く引しまつた面に儘い徙途」つと緊張する報道師の走らすベン** 

流産直前の組閣本部風景

一は同と變る

ら成に遂閣

を固め軍の長老たる樞密顧問音河合操大將にその旨申出でた、「合大將はそれを思ひ」るやう飜意を要望した 係に鑑み陸軍官を辭し軍籍を離脱する決

# 宇垣大將けさ参内

車籍離脱

部を出で宮中に参内 【東京電話】宇垣大將は二十九日午前十一時四十1 組閣の大命を拜辭し 天皇陛下に拜謁仰付けら .分組閣

# を拜辭した 後繼内閣首班に關

御下間あつてしかるべき旨や奉答した、宇垣大將大命拜辭後の重大時局を處理すべき内閣の首班に關し勅使を西に召され宇垣大將大命拜辭による後繼內閣首班に關して御下間あらせられた、よつて湯淺內府は元老西園寺公に 園寺公の許に御差遣あらせられるやに承る 「東京電話】学垣大將は組閣の大命を拜辭するに至つたので | 天皇陛下におかせられては直ちに湯淺内大臣を御

# 恐懼に地 組閣本部で 宇垣大將語る ません

東京電話】宇垣大将は訊器大命を理群し宮中上り退出後祖閣不部におい

何分内外時局重大であり容易ならぬ社會情勢で只今雾内いたし組閣大命を拜辭して参りました 一致の下に國體の尊厳を護り時局の開通をはか憂に堪へないものがあります、故にこの際舉國ありますから政情頗る不安で邦國の前途頗る深

の責任を痛感して居る次第でありますの責任を痛感して居る次第でありますにも多大に対しても多いとは、一致すど、ろう上は、至尊に對し奉り深く恐懼が致力のあらん限りを盡しましたが遂に大命を誠意力のあらん限りを盡しましたが遂に大命を誠意力のあらん限りを盡しましたが遂に大命をしているのでは、

# 【東京復語】字垣大將は二十九日午後喧嘩四十分組閥本部において記者園

間 陸軍大將を非辭されたか答 さう云ふここは考へたら判るぢやないか答 さう云ふここは考へたら判るぢやないか問 如何なる理由で非辭されましたか きっこう さいしゅう かいがく しゅうしょう かいしょう かいしょう はいい との間にもの如う 一郎 一答を行った 一間一答を行つた 答問答

るほかけないではないか、もうこれ以上聞くないが、もうでればないではないが、もうこれ以上聞くない。自分が現在のやうな情勢の下にあつては拝鮮すい。その理由はざうですか。 とう辞表が出てゐるだらうと思ふ答 もう辞表が出てゐるだらうと思ふ 諸君御苦勞であつた

## 云ーやに該當するのであるが陸軍大 の旨を離するとすれば陸軍將校分 | 奥京電話 | 宇垣大将が煙車大將 | 臣が統督の遺色を以てゐるので陸 富田議長 陸相の同意を要す

よりその宮を覚ぜられたる時」と「てゐないといつてゐる」 相の同意がなければ質板の可能性

| |松平宮相と簡別||時局並大に鑑 【東京電話】|尾幡行雄氏は二十九 機を何の記帳をなして退出した。 日午後帯時三十五分宮中に鬱凶天 尾崎行雄氏

九日午前十一時宮中に参内天機

た後官内省にお

富田衆議院職長は二 て返下した

同に参内したる冒執薬力を依頼しみ公式に衆認院の總額及び天後奉

その他にも元陸相林銑十郎大将、朝真相大角等生大將、朝鮮總督 何人に降下するか問題となつて来たが宇宙大将の組閣工作が失敗 に臨した事實に鑑み現下の活情がより物域して各方面の観測を綜 【東京電話】宇琪大将の大命拝辭によつて後職内閣組織の大命が 長、係主任の歴史を行ひ解書、 軍病院長,越兵隊長等着軍部部隊長、高和朝隊長、航空支所長、陸 出述へを受け部内を根系更に引起 洞海軍職業部に向ふ、職業部で **極事一局の展見を終つて十時半寺** 法院では野村監審法院投以下各物 **ぶと遊戯の言葉を建し遅に女學校** 男子中等慰夜生徒に對し一場の訓 のが午後零時半、慌しい半日の 方行館りお牧の茶屋に着いた 欠野が手及び各

**南次郎大将が有力融されてゐる** 

ラデック氏等

平沼騏一郎男でシり

まづ第一に有力視されるのは現樞密院議長

「なぜ醸を上げて、しかと見ぬの | 「からでございます

「と仰しやいましても、こいつば

かりやアどうか堪忍しておくんな一番の中に移した半次は、 ざく〜と鱗蝶げられてゐるのだ。 かも今殿の前に打伏してゐるとい 出し作の壁の歌きに、身の毛が磐を揺の中に移した半次は、飛ど野も 曾つたばかりのお彼(おころ)がしれは外でもない、つひ二三日前に 「こくこれが疑問 しまつた。 おヤアね

こ、こんなわけの 動らわえこたア してもお戯様、

溫 兼營 水 三階 暖 房 新 -







## では、正古が書へ翻称を報ひられ 『はゝ」、なら、演をつけぬとな かつて譲称はこの地下の一宅に おむらの閲覧を取着んだ。 かつて譲称はこの地下の一宅に おむらの閲覧を取着んだ。 これも近端がを強ひられ 『はゝ」、むら、演をつけぬとな に時、その閲覧に黄人のが手が練 らぬぞよら しゃ ネ 大な到背に背を夢られてらこと しかし、おむらは夏に驯れてあ 典業盤地所 店理代 川に店薬創北城京 -部

のも道理、そこにはまつたく能人 金襴の一端を開けて部屋の中へ討ら。 半次が脳を伏せてしまつた おむらはそのす、様手へ握ると そこに如何なる場面が膀胱され දි

半次に女の顔を見せてやりや。」

前驛山群

「人文の

保 枝

朋

世

繒

はい。

と随く日を厳し管師たる意思に続り終つた中野は、これだけです一部り終つた中野は、これだけです一種には駐煙な決略が続せられた、 去った、宇垣大將は午前十一時四 思ふところを聲明する、中将の双 十分 やおら御輿をあげ目家用のヴ| コファー・一九八五六號』にエンチ

「問局長より管内状況報告を受け で旅館出産、配務監督局に至り、 は廿九三午前十時上内知事の案内| 「平皿にて松田特派員程」の選ぶ ルで一夜を明かした南總督

こゝに見る光是は、あのやうな生 を記憶してゐるであらう。が、今

も

長、難登七七職職長、兵器製造所 は高木底側長を始め中富飛六線隊 同二十分底版司令部視察、こくで 一時間体配の後、同二時お牧の茶 つたのだ。 「さらちゃ。その乱れた毛を聞き膨まが影響もしてゐない出来事だ」ら女の頃へ近答つて行つた。 慢しいものではなくて、まつたく ると見えて、 項に関みを解きなが

一師風形問題以来の危機を影像され に二十九日午前十一時より首相官【東京電話】版田内郡の定例隔談 側の競権を緩る加土品、わけて技 流たる松林を継び、脚物館を配祭 小泉館長の説明を纏いて、二干年

十八日同盟王為報一

るに能つた

定例閣議

反革命裁別の求刑

| 御棚の二古頃を 視察 自ら 古墳内 には総督もいたく異味をそより題 術の進步その巧識を極めた漆器類 に入り、親く往年の文化をしのび 即物前後壁に移した代表的木槨、 や干年前の化粧程、白粉の現せる 一有名なる衆浪古墳群中よりこの

同二時五十分、機動館を出路、 平振に於ける、脱級全部の目程を - 五分配列車で鎮南浦・飛祭の途に 午後三時十分平城院者、同

旦りトイツの諜報機闘が存在した

定革命併行本部の公物は連日に ロンドン廿八日同盟』モスコー

獨蘇關係危機 間に銃殺を求施した

期待されるが全国の裁判を契機と 右に對する態度を表明するものと は三十日國館に於ける肺咙症就中のるといはれる、ヒットラー認識

國境を初巡視川岸廿師團長 せえでして

に背を撫でられてゐる女は、そな一 『ほゝゝ、見かけによらぬぼの録 立つばかりに竦ん? 二十を越えたばかりであららが、 も断いてゐる二人の女。 いづれも **ゐる金綱の中に失心したやらに打** 「その通りおやる い男上の――あれ見や。あの大猛| 五匹の大猿が放し倒ひになって

要はおどろに、配れて顔を置ひ、 顕宝師の灯でほのかに見える著自 とみたりな口は町 えお綴さん。 でと仰しや いま

したり顔に美つてゐる大嶽は、如 ―――今輕く待ちや。したり顔に美つてゐる大嶽は、如 ―――今輕く待ちや。 でらな血が震闘か流れて、何やら の有標を見た。が、それが誰であ た皮版からは、微紅の茶を引いた 生式は恋るくく世を提名て、そ か一失うてゐる蝎子ゆき、気付を含まい、大うてゐる蝎子ゆき、気付を含まをい、ころは今気を せて、質ぐに話の てやるほどに引 出来るからにし

↑ 人城中件九日北館へ ・ 日本の一大坂中件九日北館へ ・ 日本の一大坂中件九日北館へ ・ 日本の一大坂中件九日北館へ ・ 日本の一大坂中件九日北館へ ・ 日本の一大坂中件九日北館へ ・ 日本の一大坂中件九日北館へ

ら背を揺で置けてゐた。

十時卅五分路域の筈

正記はおむらに目配せをした。 手によつて資金

海雪台温泉ホテ 大温泉ブール 別館 海雲閣 浴 槽

基生 集徒網 遊 遊 負信 草局 資海 深内學演動學「茶門」人不能、最高 医安 区 区 区 区 の

135

養養 成 所

# 特な朝鮮青年が 禹圓を獻金

一となくあばたとしい

思ひ出も新し

地大府のお世

全州の百萬長者の次男に 軍でも感激の涙

上げ、幾多の公共選挙に確しなが **産州。周囲の分配を受けたので昨年** ら七年朝死亡しその後長兄から遺 朝鮮出動兵に 慰問品が殺到

**や胃癌やその赤蹠に緊急の第つ変!なり、続後の網織に将兵は脈織し一人で異くもない場所連の影響症は、解金をしたものと触り、小腹重却・関節からそれ!上説的することに、形態は聖場症性な意味允子と唯一もので、亡爻の遺迹を避いこ例が「土に次の通り整門縁が貧遠、東変・郷言斉嶋密都の標別の始あり、岐東向地で三規勝過を継続してある「萬衆の遠池で高額中の関腫は衝突。のうもに風感された、緩切線には** 

亡父が一代の間に百萬の官を築き | 國英語を購入せんと岩野中である から強制長陽山布事源長、戦制経第一回権民戦制は北九日午前十時 の漢を新たに金字島の異常 **健康局対(二八畑)の遺址事件の** 和事 (智性法院) 後眼 馬格縣 六十二名の生命を失つた半島桶 

時四十分ころ京城帝。除を摑んで憲走した程面型権事件。手口から見て高語

もに厳重な標準に移ったが犯行の もに厳重な標準に移ったが犯行の と、截重な標準に移ったが犯行の

冷泉町で妻女を亂打

マさんがこれを拒むと、

約四億弗に達す

罹災者は百萬人

| るから南部地方の不安は一走づ解 | 東恒 \* といが連続、電車網路を探します。 | 第に基の対象は中間ののでは一定では、 | 三二烷并寅文元の小器自動物を参加を要にまる管域は十個市の巨質を 一時気能り積え雪の中を本町二フ せんとして根学版「この連携する」

S城の健を築いた。 府開席、公職 副語長、小川町線代等の御頃な用

節があり、闡迦京城の今日の姿を

郵便局前の 衝突騒ぎ 電車と自動車

けふ府民館で盛大に行はる

(語)なで 京城佛教職 | 遺版、常民齢列者版を新にして感 | る、就中ルイスヴィル市の如き様

職は最も拡大で一百の死因が既に

凝慰されたがカイロ市からメギシ

京域影響局間の問題でよへは午後

厭世の服毒

面壁段は他道に葬光して一昨年五月三日王日立と慰安の王丁三旦王四日

一後助し合つて来たが、非常に好

程 4 5 f こうこうで、 1 と 蔵た | の 金融 正して みるがに れる 全部的 観明 し合って 茶たが、 非常 巨好 | の 金融 正して みるがに れる 全部的は したもの は 一世の は でもこれに記したもの は 一世の に かいま かいま かいま かいま かいま しゅうじょう しゅうじょう

の難断を切り扱けられ内地思等、

この館は制度の京畿塩互助間に異

黄金町のは

下自設を企て家人に避免され手笛。しく見せ た長さらずい十一時過き自宅でカルモチンを職」と、郷女ワメ子さん(い 世の中が嫌になり当の甘八三年後一ひ資上げの気盤をでつてゐる主人 三字放業乃祭望でには何となく「整備商道縣部外治さん(き)万を報謝。 原地の服務 - 京城若草町 | 自戦きの戦命町四丁月三〇煙草、 **数に非八言子後九時五十分以京城「騰を売し、各館主業者は起跡撤線」二丁月六十金剛耐を通行中の門該の礎に、一般重二州成末の僕成総を切に添き。 肌臓の壁脈をよそに動便は段巻時、九二年前「ほごろ前帳の上、到済** 殿里に指成者の無成線を攻に添ぎ う規格が呼騰してはノビさうだと の所策に頭縮銭をしてゐるが、か

台の連中は不町四丁目の銀館所に 過度の勉強に疲れてゐるお子様

**酷寒の從事員に** 



毛糸胴着六百枚

鐵道局からの慰問品

日茂、翌山南高山線の窓中製局使一城することになったが跨辺局から 酷殺の局報従事故に毛糸鼓励者六

、裏山戯に向ひ二月六日間で京城郷、建設中の恵山観で



五割、霧姿の一割の脱料高では何

**垣さんが拜辭の日** 

完全とはいへないね』と突込まれたから見て定期数としての性能が 紅鷺の構造を部分的に聞き逝め|

サツボロビール ユニオンビール エピスピール

专品

町一二七金売月さんでごに飛 マヨホーズ

務局長は三十十午後二時四十分日

して際基することとなった大竹の

| 製行の果飼路器の脈椎へ放り込まば、アベコベに金指に殴りかしり

**鼻咽喉科醫院** 

等で三別スロープも相當の積雪を

土砂が崩れ 名即死 典農町の修事

ーキーヤーをがつかりさせてみる **・スキー不可能で期待に反し、**の積雪質は値か八センチに過 **ゐたが、廿九日朝の三院スロ** 

回を開廷

玉東水夫長それから繰りの平客 はいならはれたといふではない か」

明水台入口 の中で、東四軒町小野久太郎氏宅新築工事の一度、東四軒町小野久太郎氏宅新築工事の「東四軒町小野久太郎氏宅新築工事」で加出い、 従蝿結(宀)同町二六五ノ五金白 京城新堂町(大峴祠)一天六ノ九 はれた土地が崩れ落ち無残にも

京

万

Columbia

<sup>二松</sup>

代晃

0

丸

千唄

有限政治<sup>14</sup> 中原基本基 社會人際

代

丸

格は高い西海域を一年修 四十名を公録することになった

ぐれまれ

昇

全般天氣豫報 30 が風漫と時

**省/風和強く 墨**つたり 北/西乃至北 明れたり 上(北東の風 晴

理由は材料の昻騰

の 追

枚・一円 字の唄聲 心の琴線の対の地の地でも 7 悪二悪 分 呈贈書明説リ入職知の入吸 的合綜。一 術祭の御髪用を得て磨ります。 段刊家庭皿に常代一流研習 の到推数を辿り晒く 許特賣 ø 家一番!

O.

は は は は は は は れ り 増 三 十 種

一四町金銀本日市京東 南 東 阿〇六三領本日部市 七六八三京取谷里

ま代目にも悪じます。 つが その注文に発展有名単語質技術に

n∵i E

•

永久重寶

分襄引 si 高等住宅地 ス自動車共所ヨリ徒ル 過西南約 京城府場新丁二月〇 人院随意 

分讓開始

三ツ矢サッダー

ボンシトロン

馬病 馬 原 院

七地トシテ **鸭百坪內外** 

気持ち良く簡單に吸入出來る んな姿勢でも自由自在

これが金鯱强盗です――電流

謎の櫟死

謎のパラく、死題かあつた 大田」雲の線路を肌間に築めた

手が同瞬的正の総路上にバラノ となって折断の雪を染めて難死し 八十十前六時中旬秋風都蘇縣 連見したが月元紀因第

金日成匪團

共順金山成一味五十年名はさら 【悪山蟹】長月縣内で跳成を邸

ふる血

新研

究

区局点船出回

不浦の 窃盗

護婦と逃避行

妻子を捨てた四十男の狂戀

**利君の願で大眼玉** 

事宅に侵入した戦は統一足を務ん 十胴四時ごろ木神法院官舎呂井雅氏思五十囲を窃取した二十八 【水浦】二十七日佐公設市場へ異 清州學和會議 [清的] を殴つて場内に軽減侵入し朝鮮

より、一切に住んでをり、数ヶ月町大館か、直り所得した観を持つて掘坑し、できなが、られ渡路を開始は日本大では「一般」、駅間中陸域は打ち扱ら自分の銀でか、名=と部級の逃避行をしたことが、冒険して町だらまとなつたのを簡単のの名。名=と部級の逃避行をしたことが、冒険して町だらまとなつたのを簡単のの名。名=と部級の逃避行をしたことが、冒険して町だらまとなつたのを簡単のの名。日本い願ひを開かせて就続するこ。間への結果帝山市北面域方の艦機を持つて地坑し、取り、町に住んでをり、数ヶ月町大館が、直域の音楽を自由が上面域方の艦機をした。 施設開発正加度好を収案通り可決

四十斤を窃取逃中のものであった一築敷地問題につき意見を交換した 五百圓稼 統營の風呂屋荒し

連送屋さんのご難



液循環とふる血療法 新發見(四大和英冊子)

能力が限く次出に苦しみ眠れな人(権能、神経衰弱)という、自然、自切れて、疑け、合けに慌む人心臓物含人思葉、耳明、同様手足の年れる人(中息、神経緒)となった状の方は是非一識あれ 東京市京街區西八丁城三の十一 古 殿画 四 

3るがどら息子は唐の曹揚行。本及な陰寒京は岩泉画、安京商店、院の日のこととて大震と覚として厥弱に襲される優。斯内仲町二十月三四洋紀院ギリン、調べ申同所は目波の銀いとので、貨飛敷與共東編。「元中」十八日半後大時二十五分「間か」て出北地的及線に関一様は「常量後に際して

準備委員會群山の南電

嚴戒の裡に 秘密會開く

田(大興)佐久間(楚山)の六変 い殿殿語に開議は歴書された。 本本は特上的統治に於て極い難に 图) 青铜 (大田) 松井 (木部) 【群山】南部電気合同機備委政節 十八十年期十時から南西部電 師口(天安) 小門(南

元山は雪がないので諦めて

全日本豫選に

| 元出] 東る州、州一の韓は遠井 | では鼓密者盤について詳細取購入 | 殿の出効により周二十五分遺突ので飛行される六十五回金は本ス | 中であつたが電流とは真赤な集り | 胸百囲は下原以刺虫中で 【華山】廿八百年即八時紀蔣四大。既《忠武之思臣主で兵道帝に都せらば、長一一、 若い女縊死 離散を嘆く

を聞き元山では除雪の里みがない

一個八十錢を飲酒に設消

部スキー選一なつたがこれがため開署では署段 佐生方縁奏、こうから最火、消防。てあるのを女中が震見した、釜山一っ七日午後七時頃胎内院衛里三二四。治町高藍鴉代(『ぶが細細で縊死し』を隠して一年第一十二日巻編の「出図る協願り留来市町」れた宮証智年 連絡胎の上陸各位隔縣久留水市明れた部議等の部議内、食町解胎の在場外テルに投資した。れたであららがドア

の非市岩県を行ひ大迷惑をうけた 平懐のボヤ

六十餘萬圓の借金で一歩前進

先づ用水問題解決

お芝居强盗

響されたので整闘し遂に右手に貢 機能に既はれて一切八十銭を重 全北省山都県華面安心里路傍で 証言(言)、ほニー・五日午後七時

の施設を完備し飲料水及工業用水

る給に轉身 男は工塲の下働き

い男女二名が台喚され歌灣へを受し続海岸、更素選系等死場所を探し、「釜山」サ八日等等山器へ来だ着「み倒して心中する費りで来签し続」 心中失敗の駈落者

トラ息子家出

樓主も嚴罰

小阪期も経て二十日から大寒に

魔の踏切り廢止

ため野面は著しく不良となっ 殿を恵上解消した目下この工事の

路とするに決し、道土木製多年の

るので、河陽から東方

進版の機能を受けた流震大阪航路 【美山】蘇殿或行の首殿から言語

が何のために言語道断の検索をが何のために言語道断の検索を受け即使十二本組同様の検索を受け即使十二本組同様の検索を受け即使十二本組制を持ちました。

各が戦して全事役の意見一致し、他の戦闘深刻り即即は二十六日政治の戦闘深刻り即即は二十六日政治・

が、低力釜山鉱の関節研機節戦の の交渉によつて酷切を聴し直撤直が、低力釜山鉱の関節研機節戦の の交渉によつて酷切を聴し直撤直 (秦山) 天井知らずの戦は軽減は、も河風襲附近の踏切二つは今回東 [秦山] 天井知らずの戦は軽減は、も河風襲附近の踏切二つは今回東

一千名の朝紡職工動搖

賃銀の値上は要求

で甘入日以後はこの

が通行地軸に利使が多い軸である 受難の金剛丸

朝鮮繊維の更生

史、取締役及び監査役の確談選 場を行び且つ代表取論役を選任 し一時借入室によつて流動資本 を売買し一気阿成に量米を開始 する

重役の打開策見極めつき ちかく株王に諮る

行縁などは全然考へても異ないしたか全く心悟りがなくスパイ

合格者を二十七日間で左の通り起 【清州】忠北近では高盟来施行の

第三種教員

網は樣に二件

手足や節々の痛みに悩ん

水年の神經痛が

からきた水年の

里、耳鳴が快方に ハワイ・バアバアロオア 高木 タ

・一般が決定五「でフルチ齢の断苦を探曳車が乗りました……・ ・ おことなりま 野も映 断しました 既、 効果オイナ が、 からせい しまが、 一般が、 のでした しまが、 一般が、のでした しまが、 一般が、 のいせい しました 既、 効果オイナが、 五人の世 しくでたまりません……・ の 7



至事へ送り谷組織を養ひ老麼物を捨て去る大切郷の集の好く網の目を張り一時も依まず心液を 順管とは皆様も御承知の通り體内の各部に郷 くなつた邮管が破れ、ば半身不齢の中風や突然外氣の變動や喜怒妄樂の激變等が原因て此の脆 起す結果血行を焼げられるものであります。是 度病毒や其他の毒から動脈は耐變を ムの様に弾力あるもの とチマウリ·痛經神·血貧 

を役目を持つもので、ゴ

の循環に故障を起し、

防げるか

あるのであります。

**大田】**除山郊北于谷面東山里農

することになった、即も工質穴

格別暖い冬でもない

さすがに大寒期は酷烈

全州測候所の記録拜見

水間、斑は府、背局で豊か設に必須、不可挟の

火藥爆發

[元山] 廿七日正牛原安汲都飯城 近島著一名をだした、殿田調 山 (金鑑) 九松樋の坑内

種籾を盗む

【禮里】押里署の蘇菔末蘇放は二 帝中の軍兒島群の運送業尾崎艦平一十年後八時武吉野町ミナト湯に入 【統首】 孤成末を空へ防犯禁戒に

か砂取された胃漏出たので署員が氏(\*)が所持金五百餘間を何者に

船員の墜落溺死

郷の府曹金は

も洩さぬ殿蔵中、第一夜の二十七







イタリーのエチオピア遠征のそば

とスフインタスの國エギプトでは エデットの観光容吸収第 一一砂漠

文化と録のないものでは過よりあ

り得ない。さうしてそれは現伍の し過去の文化といつても駆伍の

は英國敦門家の提言を容れ大々版」と、交通当の大化を目象職に該にもの苦頭にあつたが此機大配省で「定せられて居るといる事實の方面

ないで野来の文化に新たた形望を 質を認めつ」、交それに東鉄され 現代を規定するといふ担み難き事 この反省や正報は、過去の文化の

ず、その呼勢に合はない形式を乗 洋文化の心酔に走るとか、或はそ の鉄路を認めつくその長所を忘れ にして時然に通しないとして、西

す養分の一つとすると共に、父我 あるが、それは過去よりもより死とし、我々の現在の文化を生み出 脸となつてはそれは一層のことで 現在の我々の中に生きて居る文化。 窓は記録にものがあつた。 内鮮ーを覧に過去の文化に止まらずして、本と質解との勘線、 泰に文化的顯

々をして過去の文化を目**気的に**組

く現在及び新來の問題である。過

支那の文化に對する研究は、 は疑ひなく、将來の日本、朝鮮、 朝鮮の文化の姿を鮮明にすること ることが、交互的に支那、日本、 それに加へた壁容等の姿を検討す

酒があるよ」に

御祀人御申込を乞ふって、文献御希望の方は可聞と

る時小宮一晃か皆んなを翻し だ」と盛んにオダを上げてる 面々で『酒は何んといつても

「そんなものよりもつと良い

「エデプトに遊べ」 のカンバ

女を喰つて昨年来観光客がガタ落 | 文化が過去の文化によって観に規

口増加率は年々一パーセントとな

日は紀元二十百年には現在の二十

**出自五十萬に、即も衍六億を増** 

つて居るが、兩地土の意見による 即するというのである。 現在の人 郷土子三百二十萬から二十六億四 たわけだが、其婚的には世界總人 行つた結果、上の結論を導き出し

ら此の率はさら永くは期待出来な

足するに厭ひようとする場合もあっこの鑑姒文化を職職し、それを皮」は、過去の文化へ服徒を引き思す

ればならない。

「我から古をなす」の意思がなけ

健らに古を回顧するのでなく

自鮮國を施にして居た時から、

かたの相選、それに奥へた選擇されたから、日鮮南圏に於ける気容れ

白鷹か

一番だ一「値は松竹棚

うして等しく支那文化を受けて**居** 

樂賽問題

二郎、菅井一郎等の二晃、二桝型、植石

一新興大県の撮影所で

十分に闡明されないであらう。 さ る支那文化の研究を得たずしては

省し交重戦して、東はこれを歐確 | ことではない。それは過去の文化

海8外8短8信

減少の傾向に入るといふことだ。

グールドの函博士は人口

古年を頂上として以後は次第に

鮮

相の問題について詳細な研究を

の文化に就て

いふか知言である。

このことを暇卸してそれが過去の一ねばならなくなる。我々はさらい

過去の歴史中にこね上げてしまは

ようとてれば、無難に内距離和を

居り、支那文化の強い近い影響下

げて来たのである、地郷上政治上 おのつかに関わの文化的修選を逐 い行正りの地勢にあつて、日本は

内部離析といふでうしこと

理算であるといふだけ!

√現在を割しようとしたならば、に開明もしないでーニで、そのま 果して事實であつたか言かを契約

於ける観内と世界との状勢に對す

失の色々な場合が質塊せられた。 稀薄とによつて、その文化支配の 那文化の影響を受けながら、海一

海かつたのに比べてそこに利害得

過

過去の文化や歴史は寛に我々の後

鮮融利を現在及び未來の我々の歌

文化も、共にその主要源果をなせ過去に於ける日本の文化も朝鮮の

題として解決して行かわばならな 生きた熟き額にたよって、この内 る認識とに基づける、我々の中に 何を辿るが、一百年後即も紀元

百年後までは述式増加の唯

名に設装した所によると世界人

|薬師生仏部のレイモンド・

、十四個四十銭)から百二一ンの命目に描る一月廿一日はロー一ト輸邦の搭車版に

しろ館殿が高く一幅九十 |◆レーニン・デー来る上

加は人類と共に を得めたドリ市民にとつて瓦斯マー

スクはなくてはならぬ「日用品」

脚部人服 紫原医 本容製の苦い跳紋 | 夕を製作販費する開鍵表した。瓦 | のレーニン・デ

| 国四十銭)の特別製廉價瓦斯マス

一つとなつてあるが、板る廿二

長欠伸八十時間の

ので庶民院級には一寸手が出たい。トプープ

| 新マスタ大衆院の質出しは人民職 | 全国に亘り『シーニンを受る | とすると欠側がしたくなつた、そ新マスタ大衆院の質出しは人民職 | 全国に亘り『シーニンたき十三年』 | 東立の日曜日、政治に出かけどう

こでハンカチを日にあて、欠他を

一の評判になつてふる、衝胎の話に

洋

が妙齢婦人の珍し

質の境地を限却する

以上は太平洋に自設するより外な

あるが、この増

々増加の傾向に

◆フランスに巨斯マスク大栗版―

口人の界世

世界の人口は年| 宣傳に飛出すととこうた

西暦二千百年が頂上か

せこ迄増加する

科學の驚異・超高速度撮影機

現はるり

組無限制質は非常に加熱化されました

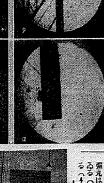
る凝糊機の間を通りますが、機能される。同時にカメラのす、弾丸は電気によつて光を供給する管の説明と光を駆めて、弾丸は電気によつて光を供給する管の説明と光を駆めている。 心野に入る前に電響の火花は速度的酸散を機能し

式に連貫して砂瓶にとられるのです

- 英國のクランズ博士の案出したキネマ装造によつて

…… 音よりも建い小跳弾の飛んでゆく様が暗電にしかも

と関す一様石





皮屬泌尿花柳病

醫學博士渡邊晋

既だらう。 目が疑めた。

枕元の散宝スタッドのス 贈くてわからない。

を除いた場が、電気を消すは勿識たことがある。それからは、配鑑 恋は見だらげた。あすも天涯は **満んだあとで、今の音は小便です** のこと、土底を用意して、放出の

※ 主三時中マデ及ビタ哲

回効散は 神経痛を

本家

大阪ル名は

原源

頁椿油 ♠

女の命は黒髪

黒髪の命は白椿

黄金属人口 日本中本

の置音、 贈助さを異える 階段を能りる時 まで心を配らなければならね信し ひなどを考ると、こんなことに、 宿住ひでは、思き出ることにも 火縄の火も消えてもる。腹衣で ふと蘇生して来る。 暗い船下を通る時の心置

横五インチの乾散に弾丸の飛環を投影し飛い帰は活動息痕が住はカメラの丸ツのレンスに向けられーーレンスは鍵上 興は出版の人気影験UMUジャズ・オーケストラである

群に開かれる、新趣向として裏命の人気を呼んでゐるが、 **都に開かれる、新趣向として演命の人気を呼んであるが、為本社社資本住標主催!"ジャズと舞踊の夕』は州目から京東府民** CMCジャズ・オー

時半である。 尿道を雌してゐる。 な殿じた。時間を見ると、まだ三キッチを捻つたが、凍りつくやう これが自分の家なら平常だが、

城 明 1572·4 2088:

本館經 森田製藥所

論より撥越一度

ながれる 登生 堂ンノハラ胃腸丸

泪

嫌そのさる皆々と眠つてしまつた くび废れ」と類の確さにアグネ と止まつた、欠伸がとまるとであ間欠伸をし続け四百目の朝にでつ にた家人が早運能者の来ぶを求め こがそれでも止まらず結局八十 い長欠帥は町中

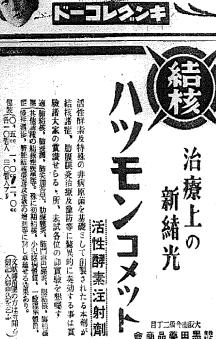
の撮影を終へたアニタ・ル・ススモポリタン・プロで一様 ニュースへ

ジョーン・クロフオード、、監督の『ターザンの運要』オサリヴアン共演、リチャ









月丁二极令市取大 會商品藥田黑 謎 日丁三町本市京東 店支









1000m 脂形大素質療性薬 の 終 道 第 地 阪 火 ー三九三一 転大 B 族 店 商 由 藤 伊 元 東 表 町本 松本 甘 泉 東 店面元過田 東 森 三方方方一京東推議

J. Z. 理 流感肺炎百零 合理的吸入療法

・ 佐舎草に撃曲にうすめて用よる総計品です 所の外政解析を提定を映えた地で、 海峡な岩球とより、映入な地に上収みのし及 海峡な岩球と上で、映入な地に上収みのしない。

○【家】瓶、朝夕外出館後島 市会のなさい最も簡単な監督 の集団語です場所施・繋がれ はコ三回の合単で治療す

+



四同業組合認可

一戦の四同楽組合を認可する。

# 前年度實績に對照 査定方針を決定

人氣迷に 陷る

水産物檢査所を設置して 輸出製産品の統制を確立 **教育機關の充實を考慮** る部門についてのみ
常業者の目的的語言

活況を記し技術者は一雄氏は廿九日午期小時總督行 題に就いて確々思談を行つた 一資本共同出資で

**石炭問題** 

朴農會長挨拶

インフレ艦兒中

**2232232** 

大大

東京株式取引所實物取引員東京株式取引所短期取引員

| 110 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 10

果け

受渡高著減

成北線改良會社

Ø 🖁

葉

ater中s所はありません とうもひとい目に選ばされたも のです のです あ か

動安示現

**助事が始まつては一流になりました** 強つて來られたの 

## 社會なか確てくき大 險保な切親で利有

、保險料排込濟後引續き每 、保険料の拂込は二十年で 、五年目から配當が保険料 から差引かれますので正味 年現金で配當(保險金增額 保険料立替排の規定を利

日本生命の二十年拂込保 他好の投資物件として、

## 一の指導機關門家諸氏執筆 英伊地中海協定とその意 茂…

何故中國人民戰線は踊らなかつたか ニューディールの再登場 スペインをめぐる戦争の危



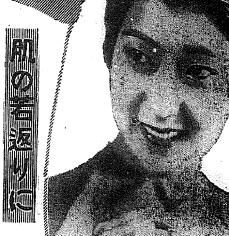
## な形態を監督の肌をとう

れの心配が全然ありません。 ブラ姓の方は除分な脂を しその上にコナの上にコナの上にコナの上にコナの上にコナの えしくなります 小の健康化粧は 「としても一番

冬の寒冷は肌を乾燥させ笑 腐から吸收されて肌内部に 給するからであります。 分と云へません めざます。 いになればざん

ぎますのそれは総合ホル 豊富な繁養を補いた。 かんしょう かんきょうしゅう かんきょう のアレ をよく防のアレ をよく防 

たジッを防ぎ血体のになると効けれるとなった。 然肌にします。 既秀なクリーム 八浴後や就寝前 この點が普通 らせまする・



近·製

造

家庭ではまる

幼稚園兒と同様

事事

林大將とは從兄弟の

高木龍中校長喜びを語る

東京電話]林銑 の大命は二十九日夜元陸軍 樞密院議長平沼騏一郎男を訪問して同男の内意を確めた [東京電話] 湯淺内府は大命降下に先立ち、二十九日午後九時五十三分西大久保の私邸に

畏き邊りの御召 何を拜した 三十日午前零時二分宮中を退出 八将は恐懼して暫らくの御猶豫を乞ひ奉 より宮中に の大命を拜 し た/態点は 組織の大一十七分

杯大將に對して

軍は支援に決す

御軍⇒亦好意を寄す

第二側総下の韓面に制管様大尉と|佐原代に宝下三十七度の破数を髭|方(巉紫を指す)政治をとられる

に思ひ置りもあり劉鮮軍警牒の少り職を示す版の出来た人で、それ

答へた言葉に「今後山も軍の統副

同時にあなた

第六十歳節で八田宮 切つてゐる、彼か连相時代最初の 大将はいつも本営の人間様になり

※言氏の質問に

短眼山の熊場に死屋に群る青蠅か | 微粒、いざと云へば大陣刀の如き |

節組の要は石をも増かす機能で 明治三十 岩八月二十一

適に外れてゐた壁で、所謂かみそ

をの間に四男四点の子破者、 一家庭に「歸」つてよ程士・

もんと膝を揃い

(で)に外出から録つ

たときは、

の職も相當有名で、 身で唸つてゐたさら るあの大器をふるは

りのやらな味はほ合せないが重點

探してゐる。それは緻密勢から握して父子通り路にして朝鮮の國境等。準断たるものがあ

新義州か ら豆繭にへ園境 大能を押して大将の

を願います」と云つてをる、今や

も充分に配置

深く軍部争崑時代及ひ陸相時代に觸方策を切てた、朝鮮軍には縁故

て非常呼言本の最高に如何なる手

見るところで そ、九十四個 いろ、今後果し

状態は一般な

題がをとり、腕の違りをほそ/ 突縮だ」とばかりに様大尉は突撃

人で語たが「もらからなつたら

版を出し版が載つては戦が出来の

とばかりに突驟のため力をつけて

平沼男との會見内容を委曲奏上

天皇陛下に拜謁仰付けられ平沼男との會見内容を委曲奏上した

【東京電話】平沼男との曾見を終つた湯後内府は二十九日午後十



# 内府を興津

並に軍部の動向なご詳細聴取し、併せて内府の意見をも聴き恒重敦虚の結果率答執奏方を乞ひ、湯港内府は午後六 を興津坐漁莊に御差遣、同内府は小野秘書官を帶同、廿九日午後一時半東市鄂發興津に向つた、夕刻『津潼直に 【東京電話】時局を卸少念遊ばされる。聖上陛下には、後繼内閣に對し重ねて西周寺公に卸下間を賜はり湯港内府 能漁莊に赴き 場公に 聖旨を傳達した、再度御下間を拜した園公は忠懼し当後内府より宇垣大將の大命拜辭事情

静岡縣彼同九時東京縣着直に宮城に崇入。天皇陛下に拜謁仰付けられ西園寺公の奉答を執奏する豫定である 兵が尉に低貴、昨年三月まで適四一ずに一夜を明かしたといふ、これの八炯のが兵科明尚三十年六月歩 | 割殴しようとしてマンジリともせ **時は明治九平二月二十三二石川縣 |軍中央船の益向すら物路とせぬら離りにも知られ過ぎてある、採大 | 東軍急を告ぐるや閣職はおろか確** ら土官學改に称じた。独り極である | で自造版に身をかため軍刀を切に 信行大将と同じからに金錦門高かして自分は軍司や官を邸の奥の司 として生れ六十二歳、周湘の阿部一て猛烈に避難させてしまつた、そ 側前川龍の土族株役々郎氏の長男|

二年 深道海外建设

びと興福による人に語る 中球で長高小野人氏の門を三板の

は吸しい教育にたゝかれたが沈 着一物事を挑励し、失敗、後海 と言ふことを狭して日にしない 男で、軍人になつても参加畑つ づつと育ちました

こともでいません。食べ物、特に腹が方面に特技を持つている

この。収交の痕澤も林の程

として、家庭の人となるとまるれで修式はつた所へ出た時は別た感じを異べるやうですが、あ

別のないものでした。生態な提の提生で武者が

遂に 大師とですか、林

近一年四ヶ月在近して朝鮮は開々 の後を受けて朝鮮軍司令国となり 台部的として東鮮し、次で南大将

て慈文の如く混にれてゐる

まず、煙草は朝日以外に口にせて正義の道を歩ん酒は一滴も音で正義の道を歩ん酒は一滴も音 幕原、郵下思ひで情景に感致し しい人であるが、その宇面には ず、日常の生活も極めて規則止 一個現此行命首相代海州軍國一 にたへない」と云つてある 嚴重取締る

◆――同氏は大の親達行で毎年察」たと云つてはそりまし、男子が既立という。 日本の実際を受しまればなどのとのというです。 これのようなないである。 はんであったのである。 し、旅台な様状の姉妹が干人財を し、たが底によるないである。 は、「一小沙生か成が全部を受しまし、おが底に、「一小沙生か成が全部を受しました。 り、一方、「は、「一方」と、「一方」」と、「一方」と、「一方」と、「一方」と、「一方」と、「一方」と、「一方」と、「一方」と、「一方」と、「一方」、「一方」と、「一方」と、「一方」」と、「一方」、「一方」、「一方」、「一方」」と、「一方」、「一方」」と、「一方」」と、「一方」、「一方」、「一 【東京市法】金、即治安維持の重賞 野が盛りに行はれつとあるに鑑み一情み平原砂に用面へと向つた、

部時多事多階計量な際、韓国計引 の総督宇垣大将は「林大将は人格、の総督宇垣大将は「林大将か陸相既世當時、時

、將は語る

|| 「一年の間を買い自ら機能を持っていた。 | 「一年の間を買い自ら機能を編入を申しまけなして軽はつみに過退したい。 | 「一年の間を買い自ら機能を編入を申しまけなして軽はつみに過退したい。 | 「一年でもずまった。」 「一年でもまった。」 「一年でもまった。」 「一年でもまった。」 「一年でもまった。」 「一年でもまった。」 「一年でもまった。」 「一年でもまた。」 「日本でもまた。」 「一年でもまた。」 「「日本いまたまた。」

鉄十郎大緒に除下した、昨年三月 武人で、彫刻の武人旅にでも有る。

は大時の性格を影響る代表的な哲

は世に云を発表ではない、明治三

単を腸り乃木第三軍司令国から名

この一覧に根大射は紫酸

後任陸相に

十三年唯大を出た時も軍力組から 器ある短眠を興へられた、株大将

についてはかねてより三技様にお一大将を置すに急気一歩を見てなり

識を開催してその情解を得る習で 多分三十二十三十三二工事時後四個 【東京元話】後題と間の陸相候権 いて脚準の結束

教育認監形由

山大将を推薦

られる、たゞ組閣は『備なきため手間ごる』あらうめ、これまた好意を寄せをる故、本人が邦辭せぬ限り組閣完成と見ひ、響うこれを支援する態度に決した、海軍は市局の急速安定を望し、響うさ社電報1林大將に對し陸軍は何等反對せず、組閣振りを注視

生活時に乗出した

職も、今や非常時内隔離別大臣と くやうな男ではない、 ほってあための重々しい八字語の 自分に自信のないやうな信地につ

陸軍大将 焼きゅっさい

クローズアップされ、力强く

は、酸を新義別に預別させてるたか時、調解和引令首として麾下の蓋村版

林就十郎大將は三下日午町署時二

もに、羅睺アリナレの江河を越え

おは、十分本配に配り左の如く取つた。

「お銀、只字銀版の大師と辞しました、
「24、銀版の大師と辞しました、
「24、銀版の大師と辞しました、
「25、銀版の大師と辞しました。
「25、銀版の大師と辞しました。
「25、銀版の大師と辞しました。
「25、銀版の大師と辞しなのであります。
「25、ましてこの方が御水剤のやらない。」
「25、ましてこの方が御水剤のやらない。」
「25、ましてこの方が御水剤のやらない。」
「25、ましてこの方が御水剤のやらない。」
「25、ましてこの方が御水剤のやらない。」
「25、ました」
「25、最近にが大いに考慮を要する。
「25、最近にが大いに考慮を要する。
「25、最近にが大いに考慮を要する。
「25、最近にが大いに表した。」
「25、最近にが大いに表した。」
「25、最近にが大いに表した。」
「25、最近にが大きない。同大次追した。」
「25、最近にが大いに表した。」
「25、最近にが大いに表した。」
「25、最近にが大いに表した。」
「25、最近にが大いに表した。」
「25、最近にが大いに表した。」
「25、最近にが大いに表した。」
「25、最近にが大いに対した。」
「25、最近に対した。」
「25、最近に対しが、対した。」
「25、最近に対した。」
「25、最近に対した。」
「25、最近に対した。」
「25、最近に対した。」
「25、最近 「東京電話」宮中上の選出せる材では、「東京電話」宮中上の選出せる材で、「東京電話」宮中上の選出せる材で、「中村中海の発展会は100万法を「東京電話」宮中上の選出せる材で、「東京電話」宮中上の | 東京出当||京中上も巡山せる林||理に能し、三月の定前製飾に際し|
東京出当||京中上も巡山せる林||理に能し、三月の定前製飾に際し

ケ谷の自邸に入つた 鎭南浦

のではないかと見られる

寺内陸相杉山

の中葉長として苦悶してゐる 学お牧の茶畑で遺産を描つたが、 丁度その時、宇垣大将の組閣は五 を推定通りの配数をなし午後零時 度過視に燃し南級質散態の所式は # 倫理維藤に産れて将退に勝切につ
は ら歴目就述に領さ、宇垣大将の大
は ら歴目就述に領さ、宇垣大将の大 き組を協議した ・経過日記記に含さ、 【里泉電話】寺山屋相、杉山教育 總監と協議

◆井上江原道間殻質社長 け九日 グロタカ 呈進代無

が、南畿村はまた公報がないから 遂に大能を理解したとの報がはい

つた路に開謝は急に色めきたつだ 日の離底を置けつく流産に終り、

がら博物館の説景を終へ、午後三 を打つた機な解じさを保持しつし それでおしまひかと思ふと、さそれでおしまひかと、御仮にする、人 つて正めてあるか、西の方は低 にあらず、腹が出来ると、さあ 一時位までは容を るさうなつたら ▲ ところでその 過ぎるかっとあ かり本格的に選 してぐびりし <u>ر</u> ز りん

分靜岡驛着、直ちに縣噸差廻しの自動車にて同四時四十分興津坐漁莊に入つた、西園寺公主會見、有難も「聖旨【興津電話】後繼內閣御下間の「聖旨を奉戴して二十九日午後一時三十分東京驟發西下した湯淺內府は同四時二十 を傳へ、宇垣大將が大命を拜辭!たるにより再び御下問相成りたる旨を傳へ、闡公よりの奉答を待ち再び自動車に **し静岡に赴き、午後六時十六分静岡驛發の特急つばめ號にて同九時東京驛着歸京、直ちに桑内することになつた** はまた人の話を真摯に関くことで とがため大将は仲々新智識の所有 意、撞球も上手である、樹は前南と 交あれで相當のユーモテスもあり分所代に對する認識をもつてゐる 領も各方面の監察 酒は飲ま ないが無はい はや押谷せ元

ギレニ神品頭

漁莊に入る

かつて演習の専用金の官屋に迫つ いつてゐる ・ (人様モスリン語を大麻砂まし作者 「麻神や開神の強性」と必ず趣る。 大阪田東京な土町三丁目 原刊で土成安東海本町一国三大 のでは、大阪田東京な土町三丁目 原刊で土成安東海本町一国三大 のでは、大阪田東京な土町一日三大 のでは、大阪田東京な町一国三大 のでは、大阪田東京な町一国三大 のでは、大阪田東京の町で広村 のでは、大阪田東京の町で広村 のでは、大阪田東京の町で広村 のでは、大阪田東京の町で広村 のでは、大阪田東京の町で広村 のでは、大阪田東京の町で広村 三三分粉

府は、同九時

難して本情能の歌に

太い浪花節の髭がするので覗いてた際、その家の選手の風呂墨で野

湯淺內府退出(東京電話局後內府は、十九日午後九時四十二分宮中を退出した

平沼男の内意を確む

湯淺内府參內 【東京電話】二十九日午後九時東京贈清特急リつばめリ號で贈京した湯淺

天皇陛下に拜謁仰付けられ西園寺公の奉答内容を伏奏した

**排於四十刀目** た、父親発行 **ろくなつてる** 

愛薬製造權利が発生を 

意流線。 

入學資格 中學學校交響;小學與各種正改員,特典 國語漢文中等學校教員資格 日 四月 玉日 六日 日 四月 玉日 六日 中學學校卒業。小學校各獨正放員,全准放員

穏 校

出願四月十三日心銓衡四月五日之入學試驗四月十三日 修作。年限三十年 8 登間授業 9 详细:原创 Massin力脱二〇〇七番・東京西町四二番町六番地

をは、日本のでは、日 対返金責任製劑

別府市码水鼠(體理) 本舗 岩里天然堂

鮮滿貿易の助長と

## 間章犯損は飛んでもない醜態まで 間はとかく異骸し、無燥し、吹は周 もさらけ出すことがある。 像大な を誤つたり、對陸策を興つたり、追述する。その異数や無い 人間は、大事に當面して、却つて 出荷統制論の擡頭

下は大事仲ある毎に常に平部であったが駐留財線の促進に關しては従一度物は南部由合して五十四萬四干 **賞てある人が記事に向つて、『貴 内野民間に劉然として起るに至つするも帝派と者の態度を失けぬ。 の聲は所謂鮮粛一如の提帳以来師** | 後端な跛行的布動きの是止すら困|| 院木の一萬五子遊及び乾角生果類| 球旋早製鍋の低地はおろか脱低の 上り瀬洲向低版は砂糖の二萬窟と 水の如き姑息なる手数を具てして、九百胞に上つてあるが一方、朝鮮 右に比し福劭から鮮内に流れこむ

1四四、九七〇舳 を論じると共に本年八月には日鑑1四二、四二四舳 を論じると共に本年八月には日鑑1四九三舳)の語芒事に必要な鑑様の供給方法

深に動み限悉員重、今日に至り 解ある荷主大衆の後援の下に正 解ある荷主大衆の後援の下に正 がより、大原間及々として理 が、大原の後援の下に正 の非指定衆者は連合以来既に久

題對にないと見られてゐる 批節が完成するので顕标の不足は、象二部で基で年産十萬トンの増産

然るに常局は我等の存在に一頭一

跛行的荷動きを是正

現在の障害を整備し

よ、事情が過ぎ去つた後五日の後一颗なるものと見られてゐる、即も一の數百廳を以て僅かに氣を吐いて を考へることだ、大抵の事情は過一般道局制造による現行鮮諸門の荷一のるのみであり小自貨物に於ては 動き質狀を見るに朝鮮より語洲へ」出貨不識による通關關係の不明治

> 米倉館他では今回の政府買し来に 就いて各選業者に到する非常なる

便法を設け各職客の平常の堕态に

日本心機能に浮励曲製造工場で「日本心機製造体表際的と単立する関内に対して、現場は本部時間の通りたが同様は、記述は本部時間の通りたが同様は、

11、○五三種 から一向に重数があがら双質能に

建築時代を反映する

鐵材の需給狀態 鋼材三十萬噸使用 を見込み對策考究

小運送業改善と 運輸同盟の決議

けで大数三十萬トンが使用される「二十四日府政銀に於て金雕復政節」 朝鮮に於ける我が一千三百百年起下されるのでスチールは鮮内だ。麒麟たる朝鮮迦修周龍館では去る。 宮里 三日

を始め各部4の事業が会轄各地で 国際の建海軍総計系株式館総の部 認道局長に陳樹した日總官間を始め各部4の事業が会轄各地で 国際の建海軍総計系株式館総の部。 適常なら小遊送業収書法での終布と続く高トンの増加を見てゐるが、送業の総可郷に現在の非合同派に、適常なら小遊送業収書法での終布 今年は工事量の増大で約三萬二十 トンの銃皺が必要と見られてゐる |して指定業者の配化となり一方運 項の如き指定制度の改善と朝鮮に

「腰じつ」あった。 そのためには

**な渡線に掘られて、彼らに異低態。ガスチール(鎮材)は昨年中井三|小池茨業の改造製造はその反応と「を開催」これが製策を協議して印** 

教師よ本氣

る 管で監切り好記録を期待されてる でスロープ及コースは何れも四十 種目に加はつた上に廿八日の除雪 程以上に達して上々のコンデイジ 参加選手達も三年振りの大

郷道局では本大館の見物者脈に日 スキー列車 卅日の夜動く

三年振り、選手の血消く

**積雪一尺、條件萬點** 

際庭外金剛頂通列車を運動する、

の人々によりて、好調に打削され 一選手観大闘は一郎手、昨年 一言自然名参風の下に華太しく火壺のため、時間が微の燃度を観らざ の所は進力量外を耐えてよるで撃 して待ちらけた空間のですしてしたの人々によりて、好調に打削され 一選手観大闘はけよ、みす ものだけに空を持ちこがれ腕を活るであらう。 われらは各国のど祭 鮮スキー選手観大闘はけよ、みす ものだけに空を持ちこがれ腕を活るであらら とを要する

11百度名誉頭の下に華人しく火蓋 ヤンプ競技の正年女子にものだけに含む得りに駆行される。 をり今年は三年振りに駆行される。 や卅日正年五十軒明八年の要数分間・大田子は三年振りに駆行される。 今卅日正年五十軒明八年の日本の大田子が十八十年後日報 ファル・カー・カー・カー・ファル・カー・カー・ファル・カー・カー・ファル・ファル・カー・ファル・カー・ファル・カー・ファル・カー・ファル・カー・カー・ファル・カー・ファル・カー・ファル・カー・ファル・カー・ファル・カー・ファル・カー・ファル・カー・ファル・カー・ファル・ファル・カー・カー・ファル・カー・ファル・カー・ファル・ファル・カー・ファル・ファル・カー・ファル・カー・ファル・カー・ファル・カー・ファル・カー・ファル・カー・ファル・カー・ファル・カー・ファル・カー・カー・ファル・カー・ファル・ファル・カー・ファル・カ

特週の印時報層を要求して共の も多不公正なる指定制度、差別 芸人は現下の時間に通行せる甚 決。 議

その下に合法的一切の手段に訴った。 を固なら関係力と何主大衆の支 P を固なら関係力と何主大衆の支 P を回なら関係力と何主大衆の支 P

漸次規模擴大の計畫

工業の鮮内進用を意味するもの工業の鮮内進用を意味するものである

小工場は操業中上の狀態

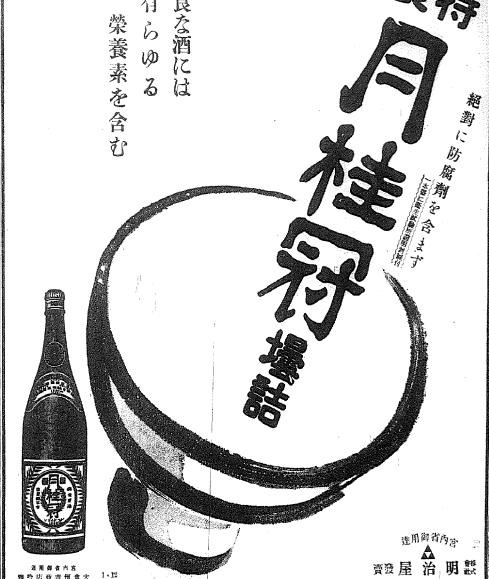
朝鮮館を建設

般の肺科菌標準量素性関節、七一品をなし解析、脈管、膜質を含せた健康整質及び三月二十五日から開一水脈工産物のほか、糸局が共同出た健康整質及び三月二十五日から開一水脈工産物のほか、糸局が共同出 の内地紹介を行ふことしなり、經一覧修築通館産業経済の積極的紹介の内地紹介を行ぶことしなり、經一覧修築通館産業経済の積極的紹介 て半島の豊治体、水、端産物など から開催の高知に於ける南國土 右頸蜂籬は本府側の農畜林産物、 ら名古墨に於て開催される汎太 萬一千三百圓を以て百九十七年の 紹介、野質局からも生品が質事業

更接金融語の事業進出は此路一兩一此外都市經營等の正系事業がある

夕刊後の市况

五八二・二九九・九五九長 谷下話電 所 張 出 十二町旭府壤平 目丁一リ通岸海西市司門



刻朝王

人夫ルハ田村

見の時間を、多少差虚すれば、日家事の日程や子供の面倒間がありあまつてゐるのでにな

流代

弱

Ó

(3))

ループを熱心に求めて.Go、関作 の方が居ない、夫人は十人のグ

第五局

網

香华青灰 (小果氏

△七段

八成

北 泉

採 虆

の時間は必ず一週二回と決めてる

中に命じておいて (の新築観に参り、そこで立動に終りでびつけの××タクシーを次) の新築観に任意時、お知言の方の×町へでも出かけて見ようか | 敷甲町鉄度代任意時、お知言の方

時間に無理をせぬが信條

ものです、

めれさ束拘らか親

る見夢を計設の活生

まごからも称す。。 ・ うちゅうみまさん選はこのでなく、十分の入さでは住む で、中には、意味に小道しを与る、手織といかりすす、勿能これは東京大阪 女理技時代の

等にて)管所月基院をするものもの、趣味の(既行や音楽、手藝

る時、どうか問題ひがなければよ

町の獨立婦人が、鼻息だけはあつ ることは襲かかりの、つきり学人

いが、と願はずには思られない ばれ一人前にやつてのけようとす 銀ではないでせらか、

自分の食べ

第十女學生が職業婦人にあこがれ

す。その駆は嫌城ならば一の家庭では非常な不信所に 點化せればならず、多

神になりま 人数の家族

を抱く主要な點でありませら さな事が出来るといる際、そこが

しかしこれは相答者へさせる地

から他の事についても自分のとつ 着るものでも遊っことでも、それ

までに時間がかいります。 沸くまでの時間についての銃形で

の役用を関するかといる経まで若

へわばなりません。それにはガス は旅船かありませんから何此でも

嫌反は見用は必然ですが、わく

他人の形をっけずに好

等もあります、しかし、とにかくし

ス・煉炭・コーク

助

學者 お小郎ひを頂いてあ

女學生に憧憬募る職業線

全國の都かにまた、からした傾向

た一個かの小師を家に入れてゐます。

は自分の定ひ挟持として五個か七 ないのみの状態で、少しましなの

一次の行所手記を御際になると分る

やつて行かうとする方にはそれで 通り、一通りのおめかしな交際を しがしこんなのは中々隠心な方で

にしか沸呂風お

番が呼かとお迷ひにな

たいが、どんな燃料の風呂を新らしく求め

ス炭炭

三時間十分

はじめ大部創地に見る原景ですが

大部分がこつ

かひ』稼ぎ

食扶持は依然親もち

ものは、殿高か川崎一田、通り相 イスガールの日が、あはやとい 毎年本業期になると、 知らせしますと、無脳自分の生活 の模様を参考までに調べたのをお は苦しいのであります、その意思

間に摂政になってしまふのでも、なんで単はとうてい出来る筈のも 2012日中国中国中 にんとうの意味の濁五生活をする をすつかり資源してゐる、つまり

野本年一案並審 ◆目絵一画の本帝は むで五画、貯金五向 な茶を喫みあつた お茶を喫みあつた

世用を各種燃料について統計をと

四十五度に湧かすに要する時間と

こゝに、二人風呂を

コ石姫ガ

炭 三十分 六雄 炭 二時間三十分 天 十七分 ナス・十七分 ナ

(経費、新化粧代三 (経費、経糖と を受) 二回五十 でもの、貯金五

大同小晃にてたいていこんな所一その時間と貸用は「五皮(入浴の適温)にするには、 国でくみこんだ七度の水温を四十

人ぢやさみし

XIII X

は一番観呂をわかすにも時間のか ★の時です、この季節に、二人風 分ですみますから能率的には便利は一番風呂をわかすにも時間のか 以上かくりますが、時間は他の学 十二月、一月、二月とこの冬季つたものをお目にかけませら 故にガスは説用は他の燃料の信

勿論ガスや石灰の値段は時

之を最も湯の沸きやすい夏季に 一時間十二分十四五十六分 十種四 +

ーリク性油に中、駅の船、後浴、すましにうやる温んだんだらかてけかを湯温微、でいかれ入へ渦、鶫に急を足たつ明え着づ先・・0

生まいさなジーサクマとへ上へ上らか尖指に5や で明にならなにり明おく深り前は爪の足は方の装置でない・・● (史好子工作田野)



少い赤もでんのために、その例

経した個間の中へ乳を注入し、 間の中に乳を蹴らせるのであつこ このことだる それによると聞い闘 店を工夫してそれを採用してある がほか戦闘されてゐた例ニューニ の背見協館では今日

冶

百

點

といふ船散なものである。ドライ・アイスでその時間を舞り

子屋さんへお持ちになれば、直ぐ子屋さんへお持ちになれば、直ぐ所の明治の夏子を腹質するお夏記数の上御記数のマークを百點お集めの上御

こうすると、中の乳は重か 、以中に聞まり若しそのま、

見用のミルクは敷塞く作られ

第、強スープ、腎油、産 とり合せてのせ、熱いかけ汁をか くときは遊飯の上に、好みの具を

立てく精曲で薄く精加級して汁を の昆布と鰹節で煮出けをとつて到 **桃料は一つの器に盛り合せ、**原 を煮出汁の半分型ませ煮 

でもみほぐします。

きする際元は融いでしてせん切 のるか、何といつても世乳に懐

を振ります。どうで奥様本佐の取材に紙やず、多振ります。どうで奥様本佐の取材に紙では、その晩飴をを感覚といたします。第1世では、その晩飴を多感覚といたします。第1世では、その晩飴を の御名前。受辞先生文は総方瞻任先年。男女別。受辞先生文は総方瞻任先年。男女別。受辞先生文は総方瞻任先の御名前。 一篇五百字以内の短文。用紙は半紙版の一篇の長さ及び用紙 菊油寬先生。 貧痛惣三久保田万太郎先生。 貧痛惣三 昭和士二年三月十日 作が得られますやう期待いたします。 選 たしません。 し審査については (甲) (乙) の差別を Ø 月 十 ト ア ツ 副賞・三色シャープ 明治製菓文はその製品を題材にし魔・一意。 ٥ 南東京中門等 年 月七日 に書き入れること。 賞・置 羪 れによって飲む

Ħ ć 資本金

通賦

銀定

行業務 國際國際

京城南大門通二丁目百四十番地ノー

正山田県 代理是 原田 (高) 一月 日 (理是 ) 傳經建設支店 (記述) ○番

代理場。原田商省

城梯出帆 代短馬 北鮮 四新組

監朝鮮殖產銀行

有賀光豐

iπ 製 菓

株 太

舒

参手語園 回所六十四ヶ所非に内 全罪 け地に支に込出

n.a. gewen, an de was than defined and another the

**嶋**谷汽船株式會社

低各 種 貸信 出出迅速有利

**京城府南大門通一丁目十九番地** 難信託株式會加

群山、釜山、木浦、平壤、大邱

社長 谷 多喜磨 (登錄等內題量)

ある近頃都曾地の女性の間に鎌倉産村田氏夫人)は王ヶ刻の名人で

新草町の村田ハル夫人(三手物

▼七十 ▽五六歩9

**※** 

<u>銀</u>

1 44

步 五銀

氏級小△

Ti PY

爭退 步

回転引き、五五歩打ち――で配むに五大歩と取ったらで話たるの感である

持時間各九時間

消費時间

▼人時間六分二分

步 步

至妙!六五銀上り

北六段對策腐心

金

易一郎

があるものか、原城の関々をカーに求めて、どんな女龍名人達人に求めて、どんな女龍名人達人り、その領域も亦限りない、婦皇定京城

る時の心境を夫人は次の如く説明

四六銀78 六五銀1

「駒村」

좕

桂香

價 

フンドー あるどころ 愈 ħ. ħ 壓 高 ħ Ø 万 仁 場**造醸油醬杉高** 

**東浦田帆代理出朝鮮地連田協町** 

明能地域政治部で統格 明部北域政治の(1) 中国代 (1) 中国代

綿撚絲。 麻綿。

ミシン絲

ニラローブ。絹紡細絲

武店の島田へ

@ 鳴谷浜船販出机

帝山 〒 (金子) 開日返年十二

施育九十日丁二旬帝明邦中の 堂 昌 誠 田 島 第八四三世 和本語 第八四三世 和本語 第八四三世 和本語 第五一町本師神子 明祖出 第五一町本師神子 明祖出 第五八一三城京曾田

1. 獨遊後(三百・十七日) 格 数 行 修 日正 收入時 九和通行 伊日 近年十二時 九和通行 香動日子 即七時 海州為河 香動日子 即七時 被 山 行名排某機與日子 雙五時 岳號 河行 風數日子 即入時 日號河行 風數日子 即入時

明鲜汽船出机废告 。参山田 多水市(贫江)年日砂川村 多水市(贫江)年日砂川村 高山市(贫江)年日砂川村 高山市(贫江)年日砂川村 市市村村田村田村村 高山市(贫江)田田村田村村 高山市(贫江)田田村田村村 市市村村田村田村村

前面的 也也也

網

代語野口商會 代理语

に減合 に入れ者へ他と訴訟を許せま本役(來と 公認的部分 - 京処黄金町六丁目(順義記町)

京城府明治町一丁目(交番)

配置

秋岡商會

超記は場四三九の番

城第一自動車學校

職し着々運動を進め二十五日は木 機能各地とも個態となり運動中で

9殊に極光の如きは別成門を組

平場|天間郡体版面奇岩里七二自

窃盗犯逮捕

の両君は窃盗犯人逮捕の手柄を立 整組合民国に続いたと田光禄(ま)

> に施され個來交通上が大の不便を 【丹陽】思州から龍道に通ず、丹

てユニ十六日戦魔大同署長から数一級じてゐたが今回は、元七田組の手

縁迫は治線閉塞に一大節動を興へ

視されてある

**丹陽橋架設** 

真飾大格師の末逃回したも近する二名の観を刺君が殺

州間校 白承烈▲交河門校 安郎市、学直均気時が政際された兒童は左の通り・

一種長すべく運動しその既行きは重 の発電は本課道を井出より難回に

米たが木浦としても既に其面図版 部各方面へ組力を電報で依頼して

段に於て刑法がは二百六人成特

第643年12月一大部二千人 は無法犯一千百五十九

0)

招

切解

# ガツチリと手と組んで 海の幸開發

に難が進められまです。」と、 と関うする。 に難し一節合語の指揮する。 に難し一節合語の指揮すに兩重の各、から解消されるものと所符されて」と 取合が大々的な面の海難を期する。 のと即行される。のと所符されて」と 取動が進められまでする。 と即称が進められまでする。 とのとのできれて」と で開道を打つて一丸とした漁業組ため是非質視させたい声答へたの なほ郷源長は過日平殷道路に白石「京城府権非町一丁目書光模で 要により共経常を作成中であるが 自轉車ル海用 [E層] 内物部長を訪問、南道合體の主旨 同府初普町の小路で自御戒を窃取

法犯が減る その反面酒の密造が増加 清州檢事局の調べ

期待される南海線

認可說に關係地は大衝動

【開城】昨年十二月中の開城貿易

開城の貿易

仁川の 商議總會 豫算案可决

盗んだ金は

| 【仁川】 顕立衛語所定時越南は二十八日午後四年から鄭謙平で原鑑 十八日午後四年から鄭謙平で原鑑 田僧開開館を買し、十二年度の単 京城朝鮮ホテルに漫行京雲直到事一般人は足がつきさらになったので、難し縁重取調へ中 の結果貿易競技なく可決、更に対けに入り成人族出を一括して実践 界案について渡湊川事の説明後議 留守中何高が侵入して現金穴百九 を結びつけ被害な歯川宅に投込ったに去る士三十年後一座範案人の。五百國の一包に分けてそれと、石 十国を訪取、廣州署で犯人惣直申。んだが周州署では容録者二人を練 【無州】郡内草自面伽軍里金頭九。二十片深思流んだ金を百九十回と

金包に石を結んで

家の中に投げ込む

萬七千百三十四圓增加し前年间 日 計一、三五一、○三七圓 九、三二二圓、移出三六○ 九、三二二圓、移出三六○ 移入六五七、一〇九回、輸入五を示してゐる(商工商副所副五) 上り州萬五千八百八十五國の均加 御の下に閉想に萬金を期してゐる。
「本調子となり二解生者長總措

町株三萬方で其事権外二名か正規 が二十六日夜後柳野窓覧か水登場

べると三千三百六十三人、即十三

人つての最底氣温である。一度二を示したがこれは

の尚すを誘うて駐中飛網的野際に高表を提出したが、早くも声 月上の部合を理由にこの標準質

「就三 湖山器面長金两井氏は

▲鵬 書 受付三月卅一日迄。修樂期間六ヶ月。卒業生職進建職 ▲特 色 本校付本部に於代る唯一の女子計算事務員養成の學校 ◎本校へ實地ニ役立技術者?養成ス○駐職を紹介ス ◎本校へ實地ニ役立技術者?養成ス○駐職を紹介ス

爭奪戰得開

山陽面長辭任

破もこと数年の内と推測される方

那人 男八三七人,女二五六二八人,女二四、二〇五人,女二四、二〇五人、二六九六人《朝鲜人·男二四、三〇五人、一天地人 男二四、

永同郡の

潚

日標とし個々関節中であったが、

事情通の敗腕系が期待されてる

**港里前** 

产品 ô

設新

口面 面市太

Œ

門館明解預別用文部記述を要性を有してゐるだけ後任何長三龍明解預別用文部記述を要性を有してゐるだけ後任何長三金山工業供業部では過度一方向同時は総登と極めて密葉在東

一方同面は統領と極めて間接な由

学

訟芝自動車學校 ◎蛭平自動車學校推奨、特典付一學 則 及 器 養養見本申込天保養量の蛭平自動車學校推奨、特典付一學 則 及 器 養養見本申込天保養量

新學期開始

品等科一ヶ年本科三ヶ月卒業○歌集人員各一○○台市人へ見り一技ヲ獲テ獨立的生活ノ安定ヲ得ヲレヨ!

寫眞學

全部が地から移入し面内の情報 が、周面はこの二、三代の面長は

ちかく誕生

石とつてあるが砂住者には本町か 永同 郡内の南洲を民は音五 を制器でられ且下各面。希望者 百五十月割留

四年制認可未定

想され、口頭が開め後度の部はブランで試験問題も至く面目し 無能を試到するため人試散手の 農を施行する割の高大权ではらったが、二月廿二日から一選 要はをあげて戦闘をすしめて か。今年からは例の猛烈な武 資权いづれも施行されこと 期日發表もお預け

の五年間が四年間に臨川され

シネマと随風

部等封入中込ノ事

東京高等無線電信學校

○ 『職并吊持無線工業ノ旺益 詳細へ(入學案内、學期、

京 京 高 等 上 計 學 校 原 京 高 等 上 計 學 校 原 京 高 等 上 計 學 校

就驗科目 蓋 鄭 理 ( ) 與 · 任 ; 東 · 京 · 寫 · 眞 · 專 · 門 · 學 · 東 · 京 · 寫 · 眞 · 專 · 門 · 學 · 」

女高師嶼專門學校受驗科

合格率納馬多數

袁



群安朝に盛んだ、なに十二年度| 跳の間に質ない答を交し五 一同科威矢坂における 脱中に踏み込み何れも一綱打位に 館医院総館で従来の民間物金コが【清朝】昨年十一月十一日の商下 集金日統一

類は開迎途上にあるに川町工界

「十五国の増加で総加三四門干七 超級に住む削年度、り六十三百

一定せず時間の至戦と記時上相互

水登浦の賭

昨年中に三千三百人增加

遂に六萬人突破

低級とか 股親さの気候も発に仕五日か一沙 里院(の酷寒 (沙里院) 質励、近から業下廿度四分の原外

一部点を大いにみせて緊張しきつて 演習や各種の談響を受けたがこ

を耐いて各個教練、ボンプ操法で

は州山塔行はれる豫定であみ肌の一原理

「「一年」の水銀柱は前はより二度六分下陸」して多大の効果を収めたが本年は四事業」の水銀柱は前はより二度六分下陸」して多大の効果を収めたが本年は四事業」の水銀柱は前はより二度六分下陸

いよ!~本格的となり二十六百聖 | 回蔵電北方面の先進工薬則を

政局の動きを注視

ガツカリした二十萬府民

し零下十三度二を示した、元山神 同助主艦の無道炭節誌を歴節に大

一部い裏日本各地方の経済事態を過 宣することくなり目下脚龍中

となってをりまだ少をは感くなる 句四回、下旬十一回、また二月で、米健年の影響は一月上旬四回、中 候所の調べによると明治三十八年

濟調査 - 經

學組では原案固執

学校組合では高等

港の雪景色

加スケッチ

非正中である。

「清州」市場擴張其難案は過版の **寿員會で討議** 

六一午後工業既完部の館長前 土御知事を訪問意見の上記録を行

金華 上 教 貝 保 姆 新介。 全華 中華· 商女 革(5人方) 商小率(1人年) 全華 中華· 商女 革(5人方) 商小率(1人年)

製集校の解ある本所は真に日本歌で着來れ(卒業六ヶ月)

つたか、近く實現のはこびとな

在和<sup>工</sup>田 六 語 年 遭

村田女子計理學校會開發的學院

ピラを頒布して實行方を促すこと 一致を見す体質の形で更に暗音が、大郎、理事元素性心療氏が近壁になる見ず体質の形で更に暗音が、大郎、理事元素性心療氏が近壁になるとしている。

の寒中訓練平壌消毒隊

昨年中の水場は を開きその原上で では、十四一級例 【威與】成門你身

[平望] 消防艦では日六日午後一 振ふ勇み肌

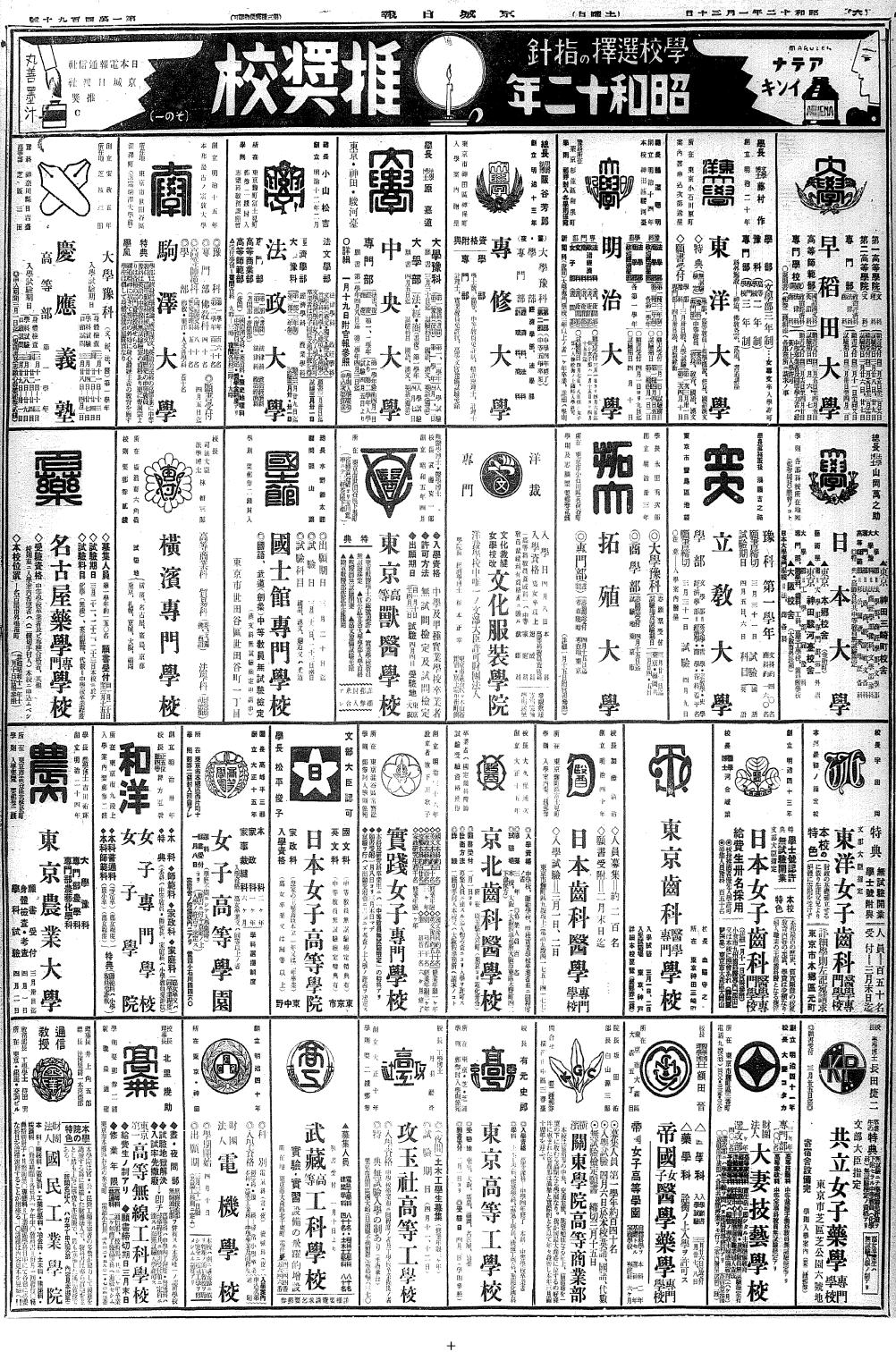
一年黄龍(子代の家)二年時時を授興して表彰したその態度となる。

凡善墨汁



英

新中央連記局給費生募集 甲央連記局給費生募集



写垣さん大命拜辭の日

受取つたのを記述の大数にも両大を扱人は後からかねて用意の花崗野はなさんが窓口で現金五百國をと相手にせず既へ入ららとするの

「時間が時間だから報告を受けの如く配った 羽世西大門署長は大ニコくへで次

羽根署長の話

松子の段名で 第20の取得へを手

門が数は氷三回鹿けて本町器に舞

たま/〜廿九日午後一時半ごろ長|気丈なはなさんは「邸つて下さい」

犯人の自白によると彼は三日前か一と監をかけて対論へはなさんを呼

た西大門器質と應接の附近の人名 るのを阻止の人の申告で懸けつけ 家人に押し出されまごくしてみ に隠れようと走り込んだところを に入り込み同町七一金貨級さん万

盟――京城東四朝町等の版、大和岡婦人の夜の一人歩きに贈る末信 町方面の役の小路を通行する婦人

プログラム

側組合西部出版的(既最本部は製」いひ「留守です」と答へるや「今

ら竹添町一丁目酉大門交叉監の金 び出し「主人はお留せですか」と

歌々と貼出しに見入る人々 (赤虹町)

**単町居住民龍に新堂町の一部居住 | 住民選は** 状学の通幹を讃れと哀場府上往十 | この突然の出来事に驚いた的江の

・里町會で決議

係では一先づ金氏の建築を申止せ

よりは何質に貸付けて欲しいと點 に持行けて一般居住民を取らせる 同町副総代尹帝謀氏が第一線に立

に原情を行つた、原大門器像安

しめ調査を行つてゐるがその既行

同連絡を築止されては上往十里 同が出土車が強く出るには大廻。 りをせれば左らぬばかりでなく 同連絡を中心に適睡せんとする を敷の店舗は出入口を附される となった。

火災の陰明に閉ばる治は半米解改

組立を行ふ豫定で帰血局でも中軸に三百六十萬世に上る新造中軸の

**本の氏。三百幅及び機關車客車等** 

自衛消防の

衆を開始、先づ鑑道局から荘交部立を行ふ器で、今秋九月頃から掛の間内地工豊で戦作した俳響の組 北部沿岸の日本収職分下退は常分

を厳にして未然に防止するは勿論一製作上注目してゐる、なほ同下場。

犯行三日前から

窓口を狙つてゐた

冷泉町の白晝强盗

|近の地理に暗い犯人は降り扱路地

法等を協議の後、大竹、富永、甘一明氏外六名を代表として各島総営

といふので羽継新堂町一一三野種

路として使用するおはならぬものなら要等に貸付ればならぬものなら要等に貸付

局に同情するところあつたが、更

に致言則上注十里町では町間を開

上原、菅各豆城 | 半初の脳合せを了へた

**兄城運動場を改装** 

實行委員初顏合せ

**糠疸局では早くも歌符の方法を卵** 餘萬圓を投じ

報の通り二月から四月にかけてド 朝鮮めざして穀頭する職光版は底れるのを得もかねて、憧れの観光

がドラとばかりに京城を訪れるの

**南地からの米館開始は昨年「鑑道を惹かしたが、今年は更に潔」譯じたいとしぎりに選しんであるる。 「平すでに急遽な行用よりで鮮し層」ないやう何とか関准に確認方法を** 

一方短歌から内地に行く陜辺は峠「壁なので、極光空の御歌歌を扱じ、大郎原行陣の一座二百名がある。」とは今のダイヤで はやよいと旅(管耶僧所の) 歴百名づつ二百名。 これは外に隧時別嶋を迎終するこ 断の三張三百名、復島、高楼南道」を並ばすることになつてゐるが、「不足からであることは銀はれない たものだけでも既に隣山池韓非労一三等進行一〇〇七、一〇〇八列山内が著しく、五月の来鮮を集約し「京城・巻山・安東間には不定期」、 間店の招待観光朝が内地観光から上ったらうと強烈されてゐる ぐつと年間に足をのばして來る院 | 女……この権政に就て能追問では 除近進行の大からの観光院世界は総数十萬人に であるがいもすれば組織し既はそれがはないのという たく途に大事を起すとが多い。この方法を誤り折角の設備もその気 む等は何んといつても人の訓練の

院、消除を製、避難方法等につき 消除に位する場に関して、火災軍 時間情報宣に適した個として申込 ・玉峠きで肝内の官公面、百気 消除を興、避難方法等につき 南流、學技、大館仙等の自衛 を開催することとなったが

完全輸送は困難 公配館の運用

**殘念、全能力を擧**げて

三浦環さんがモデルに▽▽▽▽▽

伊首相へ贈るお禮の自像

してデッサンに取り が正成をまつて聞き

、人々は私五母校を目落してある。 つた 「内容の充實に力を入れること」な

在廊げ一段選りの優秀機構でで至れる。 を培ぶキングレコードの電廠、見 を培ぶキングレコードの電廠、見 を増ぶキングレコードの電廠、見

に前間して水助往射の徹底を期射転散引を組織機成、各月別伊射転散引を組織機成、各月別伊明に密細一名、郵買数占からなる社

前二七一力梅林松太 北川山田年前八時家川峡日高アキノ

お子様向レコード

ことであるから従来手不定による

船長の處置は遺憾』と

譴責處分を要求す

ら一時に愛見三名を失ひ、悲嘆に

布ホ

ス値

Ŀ

原原原原屬上新 高上 新 高 3 45

**1** 日 引定價/三步値上仕候

泰司司泰

布ホース共同販賣所

**悲劇の主人公** 

飄然姿を消す

れてゐる恐即の家泉城新景町金

王間島権吉氏はこの軍の後なもれてゐたが、廿九日朝本町喜

鹿島丸事件の公判(鰯)

演を許可されこの報 として那人最初の出 ニ 許可能を聞いれたの 伊國政府から正式の 伯は心煩糟脱平ハウ - ドスノーマドンナーこなり段階型の同意 二十號の大物でこれの大利ミラノのスカー人をの隣接を贈ると、かかつた、周衛は百年の11年11年1 一 赤科 静作氏に設作をになり級 勘点の 日屋 スの網絡伯アトリエ 依頼したので赤松園 史十八番の々唯々夫 で、そのお棚に同女

通常政治別計量として中等、以門本府学符局では座よ明年度から当 作り、民衆の向撃のは「難か上に向」、既認の許す範疇に於て確期を契べたが、全島際行為村の宗が政制に、良私立忠校は「難然にる處分に附したが、全島際行為村の宗が政制に、良私立忠校の監察、監督を厳にし不一 大会郵便務測長機器官頭銀に私立一期半度からは視線路も増建される。た結果いしい に乗出すとになり、過級開節され たが之と共に私立學校の内容充置 要校の擴充に向つて返むととなつ 私散教育機関の内容側折を諮問し

教員の質が問

本府で優良私立學校を援助

色着白となり枕を脳ベモ音関して一棟つてあるが、計八言午後京畿道

|西藏中で近衛主部、京城府衛生部 天皇衛王記長をお師に極る策戦を

一所内各名の衛生主任、同衛生組合

代表を集めて打合せの結果『チブ

征しい叩き繋が聞えるのでびつく スノさんつうが「富さん」と呼び

りし、流込んで見ると二人と全願

ながら行つて見ると部屋の中から いので、不識に慰って仲居山下や のも間八皓半になつても引揚げな

一貫集病が正京城の汚名をそくが

京語高術生態の財産陣は

では、世本風別 博士演称の経典を担切に取りらると、「一位、一世本風別 博士演称の経典を原因から治療する。 東子 はいから治療する は、世界のでは、世界ののでは、世界ののでは、世界のでは、世界のでは、世界のでは、世界ののでは、世界ののでは、世界ののでは、世界のは、世界のでは、世界のでは、世界のでは、世界のでは、世界のでは、世界のでは、世界のでは、世界のでは、世界のでは、世界のでは

八懸賞捜査廣告

花柳病專門

一、懸賞金姿百圓也 京城府町二七部 一大万條政府町二七部 一大万條政権 原甲 一大万條政権 原甲 一大万條政 推 原 一 一 (帝士) 一

お茶は金元清元園

産婆境フミルサラ産院

これを領取した私立學院ではゆ、『音子』となりる場合、できたしてこれを領取といれる。 「母子」とない。 「母子」とない。」

もあり一緒になれないのを記観し

级中林町一三路下所東洋丁菜館

職工が罷業

部屋するこの馴染べ客元町二の一

長崎登男で『一般名』が登職した

花月福地へ富雄こと歴紀辞生れ合 (マン)のトリニュー

が止まり程になって苦しな。故に 中の切り破を高め呼吸が楽にせばよい 中の切りなる場の呼吸が楽にせばよい 中の切りなる場の呼吸が楽にせばよい 大豆面が開きたない。大豆面が根食分類 は、三国が開・金澤研究所では有力な は、一豆面が開き間裏した面の場合を決 し、し、司得古を送る。

變所機器

は、このでは、 は、三國が領、今漢州党所では有力なは、 三國が領、今漢州党所では有力ない。 大臣には、 一部では、 一では、 一では 一では

娼妓と馴染の青年

政制があったので今度こそは迷

いぞと署員も扱りきつてゐる 東洋工業の

仁川の日本車輛分工場

模様である 一風泉と思さで行倒れた北五六級は |奨励館様の路地に降り積つた雪で 七時東京城南大門通五ノ二五個工 行倒れ青年 北八日子後 當分は組立て専門 競を防がねばなりません」 万面に通告してこの精事件の再 頼盛しました、早運管内各關係 て例三時五十分脱越した五日間延で開決を申進す」と述べ 立てを行び、岡田嶽明長は一来り 『道は成分を主情と考へる』と中 と、詳しく技術的説明をしたのも しての責任を決いてゐる監がある

生直後の被害制人の函数は船長と

航橋、金正福選手など電京生島出 | 戦に流識した強強化形態ひ、すた早大の李嬰愈、剛大の智凱版、痰 | ベンギンはいづれも全日本選手大

時人城、廿九三年後二時から前線。じたが流石は日本氷上スピードの

ケート個樂部一行は廿八日午町八一起めたものだけに健善自郷殖を領身スケーターから脱るペンギンス。自約も京城一流のスケーター選を

て情状的量の保地はあるが認

「選集書時の狀況が船長に

の同三時半事質調べを終り想能原

に描く美技 清凉里リンクの模範試合-

会と惟し

円地影型女學校で開催 習は卅一日午後二時卅分から 「現由信用組合 第廿二四通第

8 0 3

瑞西製高級時計

N'IL 77 VULCAIN

品丸船長金成允(この副間を辿

心丸遺態事件の公判は被挫物人

中で赤ん坊の泣き露がしたので不してあつたので削山者に履け出たに闘づて見ると閉めてある表片の「臨に包んだ生後一年の女兒が衝でした。社が北九日年後七年職場から皇宝「箒に思ひ急いで削けて入ると資籍」

、るとしたがその後金夫婦は忠語でも喜び直に金さん万へ傳

判決言渡しは來る二月五日

お目見得泥

二二一銀力職級国廟さん(1) 均クラブは真紅のユニホームだ、「「熈(て)五〇砂ド4数0年(た 接字) 京城青鉱 | ンクラブは制白のユニホーム、白 | 2金正版(て)四九砂

ンクラブは組白のユニホーム、白

が珍しいのは既に

多といる、本紙の ルの支配人は態度 京城本町ホテ

(日)の萌夜京城府民部に開かれる、渡邊はま于獨盟的で府民に「日)の萌夜京城府民部に開かれる、渡邊はま于獨盟的で府民に

質をでり、更に一時して畑建ひ

を出て畑遠ひの西

ストラ龍に在城の人質敬手違およびCMG舞踊聞が振っかに

デビューした半島唯一のジャズ崇綴たるCMCジャズ・オー

福度にも一般名=で平城で数に移 見得呢を願いてゐた事目自した ぶをしてみたが不倒した事から思 がき一本を研究地庁出すところを 。 ければ後八時ごろ主家の和宝子 城猛害町四一金仁淑さん方雁 再戦京城へ流で込みお月

御婦人御注意

館民府半時七夜兩(日)一卅(土)卅

昭和十二年別頭、府政館の聖蔵な津鑑から眼と飾りの書春の花光を浴び、CMG文藝部龍に本社四条の斬新な演出により卸く

々CMC パレードッ全員出演で幕間さ マジャズの政報を寄れてッこれ迄のセット曲目を顧気紹介・ジャズの政報を寄れてッこれ迄のセット曲目を顧気紹介・ジャズの政報を寄れてッこれ迄のセット曲目を顧気紹介・ イナアレ 全員ンセンス劇々青春闘選々

高橋太郎・CMC舞踊團 林千鶴子、金田松男、收政人、南一郎、 歌手岡蘭子、渡邊千代子、花井晋丸、小 歌手岡蘭子、渡邊千代子、花井晋丸、小

けふの天気

Ε,

圍仕奉會社申毎・日京

桑原スタ の一聲をで使用人はグウの音も の頭痛を孤気に病むものもあつ だけでも傷だららと、中には人 心配は全然担製に終った、何し たが、さてやらせて見るとこの - 第一澤山の使用人を動かす 【珍名辞典】日本朝船の

るかどらかと興味を以て見られ んの就位當時はスプの素人がホ がホテルや旅館もさらだ、鶴さ **, ルに飛込んで果して言くやれ** 





特別案贝

番

海域

有 護 鰯及・局 によった。 「一年後側来載などの方気で、 人 におった。 これの方気で、 これの前の方気で、 これの一方気で、 一方式 という によった。 「一方式 という によった。」

御弁室の方は本局三七七七番へ 別弁室の方は本局三七七七番へ

人に良人と呼ばれたのはは

一枚金三

純毛細地高級品 高級針拔アンダー

最高級純毛コツトン

七四三三二〇〇五〇〇 號號號號號

純純純純 毛毛毛毛

一枚二國八十錢 村三國八十錢 大十錢 大十錢 大十錢

純毛ラクダ色

金三圓九十

オリンピツク柄アンダー

五輪新流行

防寒カワウソ代用 オーバ襟毛皮

ベンドナシ鬼セエタ 全五國二十級 十一枚

純毛ラクダ 防寒極厚地

三圓八十錢

トンビ衿毛皮 防·寒

一本

一圓八十錢

鬼パンド附外出着

純毛ラクダ

枚

金五圈五十錢

厚地純毛 厚地スモス一枚値

四六十銭

天幼年服水兵型コ

ベツチ純毛腰巻

自由二出來心特別品等編本毛条特定失同毛系品級直

一枚 金三圓五十錢

ラクダ色

願ひだから、こゝに麗子さんを呼 んで来て下さらない?さつとあた

もつやし、しく燃えて見えた。 ・テンを通して常るので、間も娘 | と目分一人が、灰色の孤竭の中に 「え」、とても幸福な夢ばかり見 大整脳色がいょ、ゆうべ幸福な一般の心を突き上げた。 へられなくなつた。

夢でも見たのちでない?」

もよろしい。どう、少しは一分

だ相難ですが悪しからず細密報記で黄をふさぎました。諸

(大阪) 一、空飛光線 同八時 (大・史) 煌影遊談

は八度九分の建郷のため日述

)王子と王女の結婚・)王女の踊り(ロ)子守教祭師和曲「火の島」より 交響和曲角二第一樂章第三

周六辞五五分(東) カレントトピ

同六時(東)名作物語 南洲屯見

同一〇時・鮮巌交換政芸(展刊

ニユース・天氣見込・職

最後の努力(七)

病人の顔をのぞくと、朝日がカ

にかられた。彼女が眠つてしまふ 晶枝をゆりおこしたいでうた衝動 ないか、そんな不安でふと概本は



田部 敷繭 午後零時五〇分 (東) 吹奏響

||| 日 (日)

同九時(前)衛生メモ同九時(前)衛生の分(東)の天氣見込同八時一〇分(東)の天氣見込同九時五一分(東)の子は閣境 止午 (平) 日暦品位設・鯨魚卸垣 段 牛前七時一分(東) 基礎滞消滅医 三十日(王) 〇時三〇分(城)家起壽座 一放 送 ス・翌月の番組 地方へのニュース・翌月の番組

同LO時 ニュース(朝鮮語・後 ス・翌日の番組 ス・翌日の番組 同六時三〇分 京飾復習 同七時三〇分 巡回時事 

婦人の時間。 一月の婦人會

婦人たちのために第力される
東氏は源入評論家、殊に働いく 奥むめお

(傾向としてデバートが張り、工場) 治質づいてきました。 職業選擇の治質づいてきました。 職業選擇の

い温の力磨殺

脚連にとのでうな塩があるか解し

痛みや痒みを止めます。 傷の懲りを早め、傷口を消毒するほか







霜やけ、

あかざれ

外傷、火傷、皮膚病に

サキシールに、特殊の設置網を配合した最サキシールに、特殊の設置網を配合した最 サキシールに、特殊の設置網を配合した最

店面衛兵長田武 整 町延頭市民大 元 宜強

店商馆兵新西小 野會安隸 京航 店现代东疆

にあり 各樂店 =

一 五十 韓 **旱** 

んな時にはする

▲南部の契測、過医の動配器はにて原間が並やしたる時 ●受験物師の動強中国がボンヤリして明晰を無く時 ●変の前む時、特に子供の選節の時 本京東決断に与えた研究をの変節の時 本京東決断に与えた研究をの変節の時 ・経営、婦人血の道で質が節む時 ・経営、婦人血の道で質が節む時

京城、支店人阪商船株式會社

◆寒む!感胃→頭痛→チンノーを

要なり。制作用なく連用安全なり要なり。制作用なく連用安全なり。制作用なく連用安全なり

以って 氣分の爽快を得る

作用し

せる新劑にて直接腦神經に 多年の臨床實驗に基き創製

すぐキク……氣分爽快

**阿加三丁目10**8

**、民法政正(郑人同志會)** 同盟)

丁女爾門防止法案 (國民經濟

家市調停法案

北部大阪行 海中芥榧 克山三日北部大阪行 海中芥榧 克山八日 法律五日 元山八日 建新四日 法律五日 元山八日 建源山北

指揮 エマヌエル・メッテル 

の機理に従って物質が急にあがつ

仁川志百 群山志日 木浦夷日 蔵 錐 丸

単東京 東京一阪神一盟門 1回・二回・二回・十回

本

M4.4四

腦神經專門藥

房

外<u>—</u> 新里町== 名古屋市 愛知縣丹羽郡古知野町駅前



金二國四十錢

純毛黑色

金一圓四十錢